

## 2015年度第3四半期決算説明会（電話会議）資料

2016年 2月15日（月）

**MS&AD**  
INSURANCE GROUP

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

MS & ADホールディングス広報・IR部の塩野でございます。  
本日は、お忙しい中、弊社の決算説明電話会議にご参加いただき、ありがとうございます。

**2015年度第3四半期決算の概要**

グループ連結	資料1-4
国内損害保険会社	資料5-9
国内生命保険会社	資料10-11
海外保険子会社	資料12

**2015年度第3四半期決算データ**

三井住友海上(単体)	資料13-15
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料16-18
三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保(単体単純合計)	資料19-20

**<ご参考> 2015年度業績予想 (2015年11月18日発表)**

グループ連結	資料21-23
今回業績予想の主な前提	資料24
三井住友海上(単体)	資料25-26
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料27-28
三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保(単体単純合計)	資料29-30

**2015年度第3四半期決算の概要**

グループ連結	資料 1-4
国内損害保険会社	資料 5-9
国内生命保険会社	資料 10-11
海外保険子会社	資料 12

- 正味収入保険料は、国内損保が大幅な増収になったことに加え、海外保険子会社も業容拡大し、前年同期比+6.5%増収の2兆3,409億円
- 生命保険料は、三井住友海上プライマリー生命での順調な販売と解約の減少に加え、三井住友海上あいおい生命でも増収し、前年同期比+76.2%増収の9,654億円

(億円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年同期比	
			前年同期比	増収率
元受正味保険料(除く収入積立保険料) <sup>※</sup>	24,067	25,619	1,552	6.5%
正味収入保険料 <sup>※</sup>	21,982	23,409	1,426	6.5%
三井住友海上	10,788	11,463	674	6.3%
あいおいニッセイ同和損保	8,702	9,027	324	3.7%
三井ダイレクト損保	254	266	11	4.7%
海外保険子会社	2,195	2,608	412	18.8%
生命保険料	5,478	9,654	4,175	76.2%

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

<参考:保険料(グロス収入保険料)>

(億円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年同期比	
			前年同期比	増収率
三井住友海上あいおい生命	3,215	3,376	160	5.0%
三井住友海上プライマリー生命	7,637	9,705	2,067	27.1%

それでは、「2015年度第3四半期決算説明会 電話会議 資料」と題したスライドの1ページ目、「資料1」をご覧ください。

まず、グループのトップラインの状況について説明いたします。

損保の正味収入保険料は、火災保険改定前の駆け込み需要による増収に加え、自動車保険も堅調に増収したことなどから、三井住友海上が6.3%の増収、あいおいニッセイ同和損保が3.7%の増収となりました。国内損保が引き続き、大幅な増収となったことに加え、海外保険子会社も、18.8%の増収となったことから、グループ連結では前年同期比6.5%増収の2兆3,409億円となりました。

生命保険料は、三井住友海上プライマリー生命での順調な販売と解約の減少に加え、三井住友海上あいおい生命でも増収したことから、前年同期比76.2%増収の9,654億円となりました。

- ・ 経常利益は、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保で減益となったことなどから、前年同期比 △322億円減益の 2,618億円
- ・ 四半期純利益は、前年同期比△359億円減益の 1,706億円

(億円)

	2014年度	2015年度	前年同期比	増減率
	第3四半期	第3四半期		
経常利益	2,940	2,618	△ 322	△ 11.0%
三井住友海上	1,536	1,389	△ 147	△ 9.6%
あいおいニッセイ同和損保	922	606	△ 316	△ 34.3%
三井ダイレクト損保	△ 13	△ 25	△ 12	-
三井住友海上あいおい生命	122	163	40	32.9%
三井住友海上プライマリー生命	203	417	213	105.3%
海外保険子会社	318	320	2	0.7%
その他・連結調整等	△ 149	△ 253	△ 103	-
四半期純利益※	2,066	1,706	△ 359	△ 17.4%
三井住友海上	1,112	1,001	△ 110	△ 10.0%
あいおいニッセイ同和損保	821	338	△ 482	△ 58.8%
三井ダイレクト損保	△ 10	△ 21	△ 10	-
三井住友海上あいおい生命	52	85	33	63.1%
三井住友海上プライマリー生命	156	287	131	84.3%
海外保険子会社	249	248	△ 1	△ 0.5%
その他・連結調整等	△ 315	△ 234	81	-

※ 連結の四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を表す。子会社の四半期純利益は、出資持分ベース。以下同じ。

次に、「資料2」をご覧ください。

経常利益については、三井住友海上あいおい生命、三井住友海上プライマリー生命が増益となったものの、前年度の雪害保険金支払いに伴う異常危険準備金取崩し益の反動を主因に、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保が減益となったことから、グループ連結では、この表の1行目にあります通り、前年同期比 322億円減益の 2,618億円となりました。しかしながら、自動車の損害率の低下が想定を上回ったことや政策株式の売却を順調に進めたことなどから、通期見通しに向けて、想定を上回る進捗となっています。

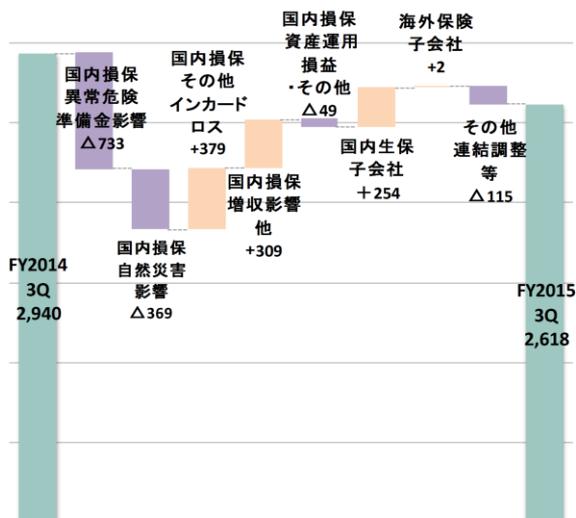
また、四半期純利益につきましても、359億円減益の 1,706億円となりましたが、こちらについても、同様に、想定を上回る進捗となっています。

- ・国内損保において、異常危険準備金影響が △733億円、自然災害に係る影響が △369億円、資産運用損益・その他が△49億円の減益要因
- ・国内損保において、その他インカードロスが +379億円、増収影響他が +309億円の増益要因
- ・国内生保は +254億円の増益要因、海外保険子会社は +2億円の増益要因

連結経常利益の増減要因 (億円)

	2014年度 第3四半期 (a)	2015年度 第3四半期 (b)	差額 (b)-(a)
連結経常利益	2,940	2,618	△ 322
国内損保 <sup>※1</sup>			
異常危険準備金影響	52	△ 680	△ 733
国内損保 <sup>※1</sup>			
自然災害に係る影響 <sup>※2</sup>	△ 283	△ 653	△ 369
国内損保 <sup>※1</sup>			
その他インカードロス <sup>※3</sup>	△9,639	△9,259	379
国内損保 <sup>※1</sup>			
増収影響他 <sup>※4</sup>	10,740	11,049	309
国内損保 <sup>※1</sup>			
資産運用損益・その他	1,589	1,539	△ 49
国内生保子会社	325	580	254
海外保険子会社	318	320	2
その他連結調整等	△ 162	△ 278	△ 115

連結経常利益 (億円)



※1 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計  
 ※2 「自然災害に係る影響」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月)およびタイ洪水(2011年度)に係るインカードロスの合計。ただし、2015年度は、タイ洪水の影響が軽微なため、これを含まない。  
 ※3 「その他インカードロス」は、「自然災害に係る影響」および「家計地震・自賠責」除いたインカードロス。損害調査費を含む  
 ※4 「増収影響他」は、「異常危険準備金影響」、「自然災害に係る影響」、「その他インカードロス」以外の保険引受利益

次に、「資料3」をご覧ください。

連結経常利益について、その内訳と前年同期からの増減を説明いたします。

右のグラフにあります通り、国内損害保険2社におきまして、先ほど申し上げた、前年度の雪害保険金支払いに伴う異常危険準備金取崩し益の反動により、「異常危険準備金の影響」が733億円の減益要因となりました。

さらに、「国内損保の自然災害の影響」も当年度発生の台風災害の影響により、369億円の減益要因となりました。

一方、増益要因としましては、「国内損保のその他インカードロス」の減少が、379億円の増益要因となり、これに加えて、「国内損保の増収影響他」も増収基調を反映したアードプレミアムの増加等により309億円の増益要因となりました。

その右の「国内損保の資産運用損益・その他」は、49億円の減益要因となっておりますが、前年同期は、価格変動準備金の追加積立に向けた有価証券の含み益実現分を計上していたことから、今年度のネット利配および政策株式の売却に伴う売却益は実質的に大幅な増加となっております。

「国内生保子会社」は、254億円の増益要因となりました。その内訳としましては、三井住友海上プライマリー生命が、順調な保有契約高の増加に加え、オーストラリアの金利上昇の影響による責任準備金負担の減少などから、212億円の増益となり、また、三井住友海上あいおい生命も41億円の増益となっております。

「海外保険子会社」については、欧州が減益となったものの、アジア、米州、再保険が増益となったことから、前期比で2億円の増益要因となりました。

- ・グループコア利益は、前年同期比 △187億円減益の 1,531億円
- ・国内損保のコンバインドレシオは、正味収入保険料の大幅な増収の影響で、前年同期比 △6.0ptの 90.2%

(億円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年同期比
グループコア利益 ※1	1,718	1,531	△ 187
国内損保事業	1,174	868	△ 306
国内生保事業	207	371	164
海外事業	312	297	△ 14
金融サービス事業/リスク関連事業	23	△ 6	△ 30
その他経営数値目標			
コンバインドレシオ（国内損保） ※2	96.2%	90.2%	△ 6.0pt
MSA生命EV増加額 ※3			
グループROE ※3			

※1 「グループコア利益」の定義は最終ページご参照

※2 「コンバインドレシオ(国内損保)」は、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、三井ダイレクト損保の合計

※3 「MSA生命EV増加額」は半期ごと、「グループROE」は年度末に開示

次に「資料4」をご覧ください。

グループコア利益は、通期予想 1,300億円に対し、第3四半期末現在で 1,531億円となりました。

## 資料5 国内損害保険会社（2015年度第3四半期）①主要2社の業績概要 1 MS&AD

- ・ 正味収入保険料は、火災保険の大幅な増収に加え、自動車保険などでも増収となり、2社合計で+5.1%の20,490億円
- ・ 異常危険準備金反映前保険引受利益は、自然災害影響の増加が大きかったものの、増収影響や自然災害以外のインカードロスの減少などにより、2社合計で319億円増加の1,136億円を確保
- ・ 保険引受利益は、異常危険準備金戻入れ益の反動減が大きく、2社合計で△413億円減少の456億円

(億円)

	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和(単体)		<ご参考>2社合計(単純合計)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
正味収入保険料	11,463	674	9,027	324	20,490	999
正味収入保険料 増収率	6.3%	1.7pt	3.7%	2.7pt	5.1%	2.1pt
正味支払保険金 (一)	5,948	△ 134	4,860	△ 275	10,808	△ 410
<インカードロス(含む損害調査費)> (一)	6,783	102	5,283	△ 99	12,067	2
諸手数料及び集金費 (一)	2,013	116	1,698	71	3,711	188
営業費及び一般管理費(保険引受) (一)	1,472	△ 56	1,377	△ 42	2,849	△ 99
異常危険準備金反映前保険引受利益	621	144	515	175	1,136	319
異常危険準備金戻入額	△ 454	△ 364	△ 225	△ 368	△ 680	△ 733
<b>保険引受利益</b>	<b>166</b>	<b>△ 220</b>	<b>289</b>	<b>△ 193</b>	<b>456</b>	<b>△ 413</b>
<b>諸比率</b>						
正味損害率	57.4%	△ 4.7pt	58.9%	△ 4.9pt	58.1%	△ 4.8pt
正味事業費率	30.4%	△ 1.4pt	34.1%	△ 0.9pt	32.0%	△ 1.2pt
<b>コンバインド・レシオ</b>	<b>87.8%</b>	<b>△ 6.1pt</b>	<b>93.0%</b>	<b>△ 5.8pt</b>	<b>90.1%</b>	<b>△ 6.0pt</b>
<除く家計地震・自賠責>						
正味損害率	54.2%	△ 4.9pt	55.5%	△ 5.3pt	54.8%	△ 5.0pt
正味事業費率	32.4%	△ 1.4pt	36.3%	△ 0.7pt	34.1%	△ 1.1pt
<b>コンバインド・レシオ</b>	<b>86.6%</b>	<b>△ 6.3pt</b>	<b>91.8%</b>	<b>△ 6.0pt</b>	<b>88.9%</b>	<b>△ 6.1pt</b>

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

次に、国内損害保険会社の状況について、主要2社合計で説明いたしますので、「資料5」の右端の列をご覧ください。

まず、正味収入保険料は、火災保険の一時的な販売増加に加え、自動車保険などでも堅調な増収となった結果、2社合計で前年同期比5.1%増収の2兆490億円となりました。

次に、保険引受利益は、異常危険準備金損益が前年同期比で大幅な減少となったことや、台風15号・18号等の自然災害によるインカードロスの増加により、前年同期比で413億円の減益となる456億円となりました。

なお、保険引受利益の2行上にある異常危険準備金反映前の保険引受利益は、自然災害によるロスの増加があったにもかかわらず、増収基調を反映したアードプレミアムの着実な増加や自動車ロスの改善などが、これを上回った結果、前年同期比で319億円の増益を実現しており、順調に推移しています。

## 資料6 国内損害保険会社（2015年度第3四半期）①主要2社の業績概要 2 MS&AD

- ・資産運用・その他収支は、ネット利配および売却益が順調に進捗し、価格変動準備金の追加積立のため有価証券の含み益を実現した前年同期に対し、2社合計で49億円減少の1,539億円を確保
- ・特別損益は、昨年度の機能別再編に伴う移行対価が無くなったことに加え、キャリア・転進支援策のコスト113億円もあり△509億円減少
- ・四半期純利益は、2社合計で前年同期比△972億円減益の1,716億円
- ・政策株式は、2社合計で1,320億円を売却

(億円)

	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和(単体)		＜ご参考＞2社合計(単純合計)							
		前年同期比		前年同期比		前年同期比						
保険引受利益	166	△	220	289	△	193	456	△	413			
ネット利息及び配当金収入	696		100	327		17	1,023		117			
有価証券売却損益	644		100	67	△	113	711	△	12			
有価証券評価損	(-)		37	0		38	36		75	36		
資産運用・その他収支	1,223		73	316	△	123	1,539	△	49			
経常利益	1,389	△	147	606	△	316	1,995	△	463			
特別損益	△	115	△	118	△	163	△	391	△	279	△	509
税引前四半期純利益	1,274	△	265	442	△	707	1,716	△	972			
四半期純利益	1,001	△	110	338	△	482	1,339	△	593			

次に、「資料6」をご覧ください。

資産運用収支については、ネット利配が増加したことに加え、政策株式の売却を進めたことにより、1,539億円の利益を確保することができました。昨年度は、価格変動準備金の追加積立のための有価証券売却を実施し、有価証券売却損益として724億円の利益を計上しましたが、今年度の資産運用収支は、この前期の金額と比較しても、ほぼ同じ水準となっています。

なお、政策株式の売却についてですが、12月末時点において2社合計で1,320億円を売却しており、有価証券売却益の予想の前提としていた、1,500億円程度の約9割について、既に売却を完了しています。

以上の結果、国内損害保険主要2社合計の経常利益は、前期比463億円減益の1,995億円となりました。

特別損益については、昨年度計上した機能別再編に伴う移行対価が無くなったことに加え、あいおいニッセイ同和損保のキャリア・転進支援策のコスト113億円もあり、前年同期比で509億円の減少となりました。

四半期純利益については593億円減少の1,339億円となりました。

- ・自然災害に係るインカドロス、2社合計で前年同期比+369億円の653億円
- ・自然災害に係る支払保険金は、2014年2月の大雪に係る多額の支払いがあった前年同期から△397億円減少

## 自然災害に係る影響

(億円)

	インカドロス		支払保険金		支払備金積増額		支払備金残高
		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
当年度発生国内自然災害	650	369	481	272	169	96	169
三井住友海上	374	202	267	142	107	59	107
あいおいニッセイ同和損保	275	166	214	129	61	36	61
2014年2月大雪による損害	2	△ 25	14	△ 607	△ 12	582	7
三井住友海上	1	△ 15	5	△ 366	△ 4	351	2
あいおいニッセイ同和損保	1	△ 10	8	△ 241	△ 7	231	5
タイ洪水(2011年度発生)*	—	25	—	△ 62	—	87	—
合計	653	369	495	△ 397	157	766	176

※ タイ洪水に係る当期の各項目については、影響が軽微なため集計していない。

次に、自然災害の影響を説明いたします。「資料7」をご覧ください。

一番下の行にあります、当年度の自然災害に係るインカドロスは、台風損害の増加を主因に2社合計で前年同期比369億円増加の653億円となりました。

一方、自然災害に係る支払保険金は、2014年2月の大雪に係る多額の支払いがあった前年同期から397億円減少しました。

なお、一番上の行にある「当年度発生国内自然災害」のインカドロスは650億円となっていますが、通期予想では、今年度750億円のインカドロスを想定しています。

- ・異常危険準備金のネット増減額は、2社合計で前年同期比+733億円増加の680億円
- ・取崩額は、2014年2月の大雪に係る保険金支払いがほぼ無くなったことや、自動車保険の損害率が改善したことなどから、2社合計で127億円（前年同期比 △667億円）。繰入額は、増収を反映し、2社合計で808億円（前年同期比 +67億円）

## 異常危険準備金

(億円)

		取崩額	繰入額	ネット増減額		残高
					前年同期比	
三井住友海上	火災	-	177	177	238	1,358
	海上	-	23	23	1	746
	傷害	17	32	15	23	638
	自動車	3	155	152	95	370
	その他	6	93	86	4	1,640
	合計	27	482	454	364	4,754
あいおいニッセイ 同和損保	火災	-	103	103	242	1,088
	海上	-	0	0	1	138
	傷害	-	15	15	△1	627
	自動車	90	162	71	123	285
	その他	9	43	34	2	576
合計	100	325	225	368	2,716	
2社合計 (単純合計)	火災	-	281	281	481	2,447
	海上	-	23	23	2	884
	傷害	17	48	30	22	1,265
	自動車	93	317	224	218	655
	その他	16	136	120	7	2,217
	合計	127	808	680	733	7,471

次に、「資料8」をご覧ください。異常危険準備金の状況を説明いたします。

一番下の行にある、全種目合計の異常危険準備金の取崩額は、前のスライドの通り、自然災害に係る保険金支払いが397億円減少したことに加え、自動車保険の損害率が改善したことなどから、2社合計で127億円と、前年同期比で667億円の減少となりました。

一方、繰入額は増収を反映し、2社合計で808億円と、前年同期比で67億円の増加となっています。

以上の結果、全種目合計のネット増減額は、2社合計で680億円の繰入れとなり、取崩しだった前年同期から733億円増加しました。

## 資料9 国内損害保険会社（2015年度第3四半期）④自動車保険の状況 MS&AD

- ・ 事故件数が、降雪が少なかったことなどから低位で推移するなか、増収効果もあり、EI損害率は前年同期比 3.0pt 低下の 58.0%
- ・ 保険金単価は、部品代の上昇の影響などから上昇

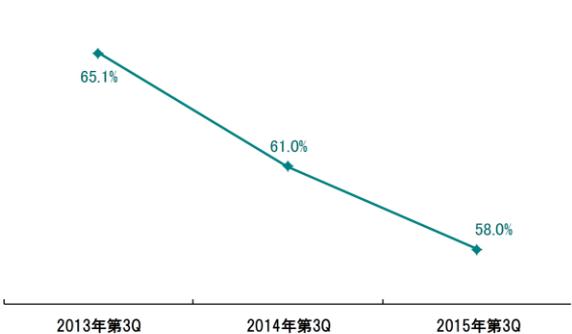
### 事故件数の推移（除く自然災害，2月大雪等の雪害を含む）

（MS・AD 2社単純合算ベース）  
（国内，1日あたり，対前年同月）



### EI 損害率の推移（含む損害調査費）

（MS・AD 2社単純合算ベース）



### 保険料・保険金

#### 三井住友海上

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.1%	+3.0%	+3.2%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+1.6%	+1.5%	

#### あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	△ 1.2%	+3.0%	+1.8%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+1.8%	△ 0.1%	

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース(4-12月)の対前年同期比

※ 保険金単価の増減は、2015年3月末までの1年間の保険金単価に対する、2015年12月末までの1年間の保険金単価の増減を表示

※ 車両保険(除く自然災害)の保険金単価には、2014年2月大雪等の雪害を含む ※ EI損害率算出対象期間は、各年度の4-12月

次に「資料9」をご覧ください。自動車保険の状況を説明いたします。

上段左の折れ線グラフは、2社合算の自動車保険の事故件数増減を示しています。

事故件数は、前年同月比で、10月が△1.0%、11月が△3.8%、12月が△9.2%と、減少しており、今期の降雪が昨年に比べ大幅に少なかったことなどを要因とみています。

次に、下段にある「保険料の増減要因」の表をご覧ください。

保険料単価は、三井住友海上がプラス3.0%、あいおいニッセイ同和損保もプラス3.0%と2社ともに上昇しておりますが、これは、過年度の料率改定を含めた商品改定が主因です。

2社合算のEI損害率は、上段右のグラフの通り低下し、2015年度第3四半期は、58.0%と前年同期比で3.0ポイントの低下となりました。

一方、スライド下段の保険金単価ですが、あいおいニッセイ同和損保では、子会社を本体に統合したことによる、保険金単価の抑制影響がありました。それを除きますと、両社ともに部品代上昇の影響により対物および車両の保険金単価が上昇しており、引き続き注視が必要と考えております。

- ・新契約高は、収入保障保険の減少などにより、前年同期比  $\Delta 0.6\%$  減少の 1兆8,190億円
- ・新契約年換算保険料は、逓増定期保険の販売が増加したことから、前年同期比  $+6.1\%$  増加の 356億円
- ・四半期純利益は、前年同期比  $+33$ 億円 増益の 85億円

## 三井住友海上あいおい生命

(億円)

	2014年度 第3四半期		2015年度 第3四半期	
			前年同期比	増減率
新契約高（個人合計）	18,293	18,190	$\Delta 103$	$\Delta 0.6\%$
新契約年換算保険料	335	356	20	6.1%
うち 第三分野	108	102	$\Delta 5$	$\Delta 5.4\%$
保有契約高（個人合計）	(期首) 218,940	224,105	(期首比) 5,165	2.4%
保有契約年換算保険料	(期首) 3,559	3,723	(期首比) 163	4.6%
うち 第三分野	(期首) 705	768	(期首比) 62	8.9%
保険料(グロス収入保険料)	3,215	3,376	160	5.0%
経常利益	122	163	40	32.9%
四半期純利益	52	85	33	63.1%
基礎利益	128	144	16	12.7%

次に三井住友海上あいおい生命の状況について説明します。「資料10」をご覧ください。

新契約高は、収入保障保険の販売の減少などにより、前年同期比  $0.6\%$  の減少の 1兆8,190億円となりました。

また、新契約年換算保険料は、逓増定期保険の販売が増加したことなどから、前年同期比  $6.1\%$  の増加となりました。

保有契約高につきましては、期首比  $2.4\%$  の増加、保有契約年換算保険料は、同じく  $4.6\%$  の増加となり、引き続き成長しております。

四半期純利益は、生命保険料の増収や利配の増加などにより、前年同期比で  $33$  億円の増加となりました。

- ・ 保険料は、定額終身保険に加え、新商品の変額終身保険の販売が好調だったことから、+27.1% 増収の9,705億円
- ・ 四半期純利益は、豪ドル金利の上昇により、外貨建商品に係る責任準備金負担が減少し、+131億円 増益の287億円

## 三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2014年度 第3四半期		2015年度 第3四半期	
			前年同期比	増減率
新契約高（個人合計）	7,446	9,374	1,927	25.9%
保有契約高（個人合計）	（期首） 44,210	47,990	（期首比） 3,779	8.5%
保険料（グロス収入保険料）	7,637	9,705	2,067	27.1%
経常利益	203	417	213	105.3%
四半期純利益	156	287	131	84.3%
基礎利益	△ 67	379	446	-

続いて三井住友海上プライマリー生命の業績を説明いたします。「資料11」をご覧ください。

グロス収入保険料は、今年度発売した外貨建変額終身の販売が好調だったこと、および定額終身の販売も引き続き好調であったことから、27.1%増収の9,705億円となりました。

また、四半期純利益については、順調な保有契約高の増加に加え、オーストラリアの金利上昇により責任準備金負担が減少したことを主因に前年同期比131億円の増益の287億円となっています。

- ・ 正味収入保険料は、全地域および再保険で増収し+18.8%増収の2,608億円（為替影響+175億円）
- ・ 四半期純利益は、前年同期並みの248億円（為替影響+22億円）

## 海外保険子会社

(億円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
正味収入保険料	2,195	2,608	412	18.8%
アジア	1,105	1,294	188	17.1%
欧州	606	772	166	27.4%
米州	310	358	47	15.4%
再保険	173	183	10	5.8%
四半期純利益	249	248	△ 1	△ 0.5%
アジア	135	148	13	9.8%
欧州	37	△ 5	△ 42	△ 114.8%
米州	8	20	12	155.9%
再保険	69	85	15	22.7%

次に海外保険子会社の状況について説明いたします。「資料12」をご覧ください。

正味収入保険料は、アジア、欧州、米州のすべての地域で増収するとともに、再保険も増収したことから、18.8%増収の2,608億円となりました。  
なお、ここには、為替影響としてプラス175億円を含んでおります。

四半期純利益は、欧州において、買収した英国BIG社の初期コストなどによるマイナス影響があったものの、再保険が大口の自然災害がなかったことなどから増益となったことやアジアの損害率が改善したことから、前年同期並みの、248億円となりました。

## 2015年度第3四半期決算 データ

三井住友海上(単体)	資料13-15
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料16-18
三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保(単体単純合計)	資料19-20

次ページ「資料13」から「資料20」まで、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保それぞれの単体、および2社単体の単純合算の業績を付けております。後ほどご覧ください。

また、資料21以降に、昨年11月18日に発表いたしました、2015年度業績予想の資料を、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保単体の業績予想の詳細、および、2社単体の単純合算の資料と併せて付けております。こちらの数値に変更はございません。

以上で、私からのご説明を終わります。

## 資料13 三井住友海上（単体）2015年度第3四半期業績①

MS&amp;AD

(億円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年同期比	
正味収入保険料	10,788	11,463		674
正味収入保険料 増収率	4.6%	6.3%		1.7pt
正味損害率	62.1%	57.4%		△4.7pt
正味事業費率	31.8%	30.4%		△1.4pt
コンパインド・レシオ	93.9%	87.8%		△6.1pt
インカードロス(含む損害調査費)	6,681	6,783		102
保険引受利益	386	166		△220
ネット利息及び配当金収入	595	696		100
有価証券売却損益	543	644		100
有価証券評価損	△36	△37		△0
資産運用損益	1,175	1,250		74
経常利益	1,536	1,389		△147
特別損益	2	△115		△118
四半期純利益	1,112	1,001		△110
〈除く家計地震・自賠責〉				
正味収入保険料 増収率	4.7%	6.3%		1.6pt
正味損害率	59.1%	54.2%		△4.9pt
正味事業費率	33.8%	32.4%		△1.4pt
コンパインド・レシオ	92.9%	86.6%		△6.3pt

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

## 資料14 三井住友海上（単体）2015年度第3四半期業績②

MS&amp;AD

正味収入保険料 (億円)				正味損害率			
	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	増収率		2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年同期比
海上	486	513	5.7%	海上	46.9%	50.5%	3.6pt
傷害	1,102	1,041	△5.5%	傷害	59.7%	58.7%	△1.0pt
自動車	4,698	4,853	3.3%	自動車	59.6%	57.9%	△1.7pt
自賠責	1,343	1,418	5.6%	自賠責	83.6%	79.9%	△3.7pt
その他	1,537	1,694	10.2%	その他	45.3%	44.4%	△0.9pt
合計	10,788	11,463	6.3%	合計	62.1%	57.4%	△4.7pt
除く家計地震・自賠責	9,439	10,039	6.3%	除く家計地震・自賠責	59.1%	54.2%	△4.9pt

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

資料15 三井住友海上（単体）2015年度第3四半期業績③

MS&AD

インカードロスとE I 損害率（含む損害調査費）

（億円）

	2014年度 第3四半期					2015年度 第3四半期					前年同期比
	インカードロス (a)	E I 損害率	自然災害影響 (b)	(a)-(b)	E I 損害率 (除く自然災害影響)	インカードロス (c)	E I 損害率	自然災害影響 (d)	(c)-(d)	E I 損害率 (除く自然災害影響)	
火災 (除く家計地震)	932	62.6%	130	801	53.9%	985	63.3%	329	656	42.2%	△11.7pt
海上	232	49.4%	1	231	49.1%	325	62.2%	1	324	61.9%	12.8pt
傷害	653	59.8%	1	652	59.7%	586	55.4%	0	586	55.4%	△4.3pt
自動車	2,881	61.7%	12	2,868	61.4%	2,895	60.2%	24	2,870	59.6%	△1.8pt
その他	862	59.4%	19	842	58.0%	860	54.0%	21	839	52.7%	△5.3pt
合計 (A)	5,562	60.6%	164	5,397	58.8%	5,653	59.2%	376	5,277	55.3%	△3.5pt
家計地震 (B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自賠償 (C)	1,119	—	—	1,119	—	1,130	—	—	1,130	—	—
合計(A)+(B)+(C)	6,681	—	164	6,516	—	6,783	—	376	6,407	—	—

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金増額額

※E I 損害率の分母となるアード（既経過）保険料は、未経過保険料（除く自然災害責任準備金）・保険料積立金等を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠償

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害、大雪（2014年2月発生）およびタイ洪水（2011年度発生）に係るインカードロスの合計

ただし、2015年度は、タイ洪水の影響が軽微なため、これを含まない。（2014年度第3四半期におけるタイ洪水インカードロスは△24億円）

資料16 あいおいニッセイ同和損保（単体）2015年度第3四半期業績①

MS&AD

（億円）

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	8,702	9,027	324
正味収入保険料 増収率	1.0%	3.7%	2.7pt
正味損害率	63.8%	58.9%	△4.9pt
正味事業費率	35.0%	34.1%	△0.9pt
コンパインド・レシオ	98.8%	93.0%	△5.8pt
インカードロス(含む損害調査費)	5,382	5,283	△99
保険引受利益	482	289	△193
ネット利息及び配当金収入	310	327	17
有価証券売却損益	180	67	△113
有価証券評価損	△1	△38	△36
資産運用損益	431	307	△124
経常利益	922	606	△316
特別損益	227	△163	△391
四半期純利益	821	338	△482
〈除く家計地震・自賠償〉			
正味収入保険料 増収率	0.7%	3.7%	3.0pt
正味損害率	60.8%	55.5%	△5.3pt
正味事業費率	37.0%	36.3%	△0.7pt
コンパインド・レシオ	97.8%	91.8%	△6.0pt

資料17 あいおいニッセイ同和損保（単体）2015年度第3四半期業績② MS&AD

正味収入保険料 (億円)

	2014年度	2015年度	増収率
	第3四半期	第3四半期	
火災	1,030	1,277	23.9%
海上	63	43	△31.2%
傷害	533	490	△8.0%
自動車	5,008	5,052	0.9%
自賠償	1,253	1,299	3.7%
その他	813	863	6.2%
合計	8,702	9,027	3.7%
除く家計地震・自賠償	7,445	7,722	3.7%

正味損害率

	2014年度	2015年度	前年同期比
	第3四半期	第3四半期	
火災	75.7%	52.4%	△23.3pt
海上	59.8%	45.7%	△14.1pt
傷害	49.6%	50.8%	1.2pt
自動車	60.0%	57.7%	△2.3pt
自賠償	82.1%	79.2%	△2.9pt
その他	53.8%	50.5%	△3.3pt
合計	63.8%	58.9%	△4.9pt
除く家計地震・自賠償	60.8%	55.5%	△5.3pt

資料18 あいおいニッセイ同和損保（単体）2015年度第3四半期業績③ MS&AD

インカードロスとE I 損害率 (含む損害調査費)

(億円)

	2014年度 第3四半期					2015年度 第3四半期					前年同期比
	インカードロス (a)	E I 損害率	自然災害影響 (b)	(a)-(b)	E I 損害率 (除く自然災害影響)	インカードロス (c)	E I 損害率	自然災害影響 (d)	(c)-(d)	E I 損害率 (除く自然災害影響)	
火災 (除く家計地震)	590	54.4%	94	496	45.7%	688	60.8%	232	455	40.3%	△5.4pt
海上	37	48.0%	—	37	48.0%	22	56.3%	—	22	56.3%	8.3pt
傷害	251	49.7%	0	250	49.7%	229	46.6%	0	229	46.6%	△3.1pt
自動車	2,989	60.4%	14	2,975	60.1%	2,838	56.0%	29	2,808	55.4%	△4.7pt
その他	492	61.9%	10	482	60.7%	481	58.0%	14	466	56.3%	△4.4pt
合計 (A)	4,361	58.8%	119	4,241	57.2%	4,259	56.3%	276	3,982	52.7%	△4.5pt
家計地震 (B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自賠償 (C)	1,021	—	—	1,021	—	1,023	—	—	1,023	—	—
合計(A)+(B)+(C)	5,382	—	119	5,263	—	5,283	—	276	5,006	—	—

※インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※E I 損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料、保険料積立金等を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠償

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生)およびタイ洪水(2011年度発生)に係るインカードロスの合計ただし、2015年度は、タイ洪水の影響が軽微なため、これを含まない。(2014年度第3四半期におけるタイ洪水インカードロスは△0億円)

## 資料19 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）

MS&amp;AD

(億円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	19,490	20,490	999
正味保険料 増収率	3.0%	5.1%	2.1pt
正味損害率	62.9%	58.1%	△4.8pt
正味事業費率	33.2%	32.0%	△1.2pt
コンバインド・レシオ	96.1%	90.1%	△6.0pt
インカードロス(含む損害調査費)	12,064	12,067	2
保険引受利益	869	456	△413
ネット利息及び配当金収入	905	1,023	117
有価証券売却損益	724	711	△12
有価証券評価損	△38	△75	△36
資産運用損益	1,607	1,558	△49
経常利益	2,459	1,995	△463
特別損益	230	△279	△509
四半期純利益	1,933	1,339	△593
〈除く家計地震・自賠償〉			
正味保険料 増収率	2.9%	5.2%	2.3pt
正味損害率	59.8%	54.8%	△5.0pt
正味事業費率	35.2%	34.1%	△1.1pt
コンバインド・レシオ	95.0%	88.9%	△6.1pt

※「正味損害率」は「リターン・ペイド」ベース

MS&amp;AD Insurance Group Holdings, Inc.

19

## 資料20 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）

MS&amp;AD

## 正味収入保険料

(億円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	増収率
火災	2,651	3,219	21.4%
海上	549	557	1.4%
傷害	1,635	1,532	△6.3%
自動車	9,706	9,905	2.0%
自賠償	2,596	2,717	4.7%
その他	2,351	2,557	8.8%
合計	19,490	20,490	5.1%
除く家計地震・自賠償	16,885	17,762	5.2%

## 正味損害率

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年同期比
火災	74.6%	52.2%	△22.4pt
海上	48.4%	50.1%	1.7pt
傷害	56.4%	56.1%	△0.3pt
自動車	59.8%	57.8%	△2.0pt
自賠償	82.9%	79.5%	△3.4pt
その他	48.2%	46.5%	△1.7pt
合計	62.9%	58.1%	△4.8pt
除く家計地震・自賠償	59.8%	54.8%	△5.0pt

## インカードロス

(億円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年同期比
インカードロス(含む損害調査費) <sup>※1</sup>	12,064	12,067	2
自然災害 <sup>※2</sup>	283	653	369
自然災害以外	11,780	11,413	△366

※1 インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※2 「自然災害」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生)およびタイ洪水(2011年度発生)をいう。

ただし、2015年度は、タイ洪水の影響が軽微なため、これを含まない。(2014年度第3四半期におけるタイ洪水-インカードロスは△25億円)

MS&amp;AD Insurance Group Holdings, Inc.

20

以降のスライドに、2015年度業績  
予想(2015年11月18日発表)の  
資料を掲載しています。

## <ご参考> 2015年度業績予想 (2015年11月18日発表)

グループ連結	資料21-23
今回業績予想の主な前提	資料24
三井住友海上(単体)	資料25-26
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料27-28
三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保(単体単純合計)	資料29-30

### 資料21 グループ連結 2015年度業績予想 ①

2015年度業績予想  
(2015.11.18 発表)内容

(億円)

	2014年度	2015年度 (年初予想)	2015年度(今回予想)			
			前期比	前期比増減率	年初予想比	
正味収入保険料 ※	29,407	30,660	<b>30,950</b>	1,542	5.2%	290
三井住友海上	14,458	14,900	<b>15,210</b>	751	5.2%	310
あいおいニッセイ同和損保	11,608	11,820	<b>11,910</b>	301	2.6%	90
三井ダイレクト損保	350	361	<b>363</b>	12	3.5%	2
海外保険子会社	2,932	3,500	<b>3,410</b>	477	16.3%	△ 90
生命保険料	7,217	8,470	<b>11,380</b>	4,162	57.7%	2,910

※ 正味収入保険料は、自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

#### <参考：保険料（グロス収入保険料）>

	2014年度	2015年度 (年初予想)	2015年度(今回予想)			
			前期比	前期比増減率	年初予想比	
三井住友海上あいおい生命	4,418	4,514	<b>4,570</b>	151	3.4%	56
三井住友海上プライマリー生命	10,540	8,000	<b>11,500</b>	959	9.1%	3,500

資料22 グループ連結 2015年度業績予想 ②

2015年度業績予想  
(2015.11.18 発表)内容

(億円)

	2014年度	2015年度 (年初予想)	2015年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
経常利益	2,870	2,420	2,450	△ 420	30
三井住友海上	1,713	1,400	1,490	△ 223	90
あいおいニッセイ同和損保	689	530	540	△ 149	10
当期純利益 ※	1,362	1,570	1,570	207	-
三井住友海上	891	970	1,040	148	70
あいおいニッセイ同和損保	394	320	310	△ 84	△ 10
三井ダイレクト損保	△ 31	△ 3	△ 24	7	△ 22
三井住友海上あいおい生命	44	25	30	△ 14	5
三井住友海上プライマリー生命	124	125	170	45	45
海外保険子会社	350	290	270	△ 80	△ 20
その他・連結調整等	△ 410	△ 157	△ 226	184	△ 68

※連結の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表す。子会社の当期純利益は、出資持分ベース。以下同じ。

資料23 グループ連結 2015年度業績予想 ③

2015年度業績予想  
(2015.11.18 発表)内容

(億円)

	2014年度	2015年度 (年初予想)	2015年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
グループコア利益	1,557	1,510	1,300	△ 257	△ 210
国内損保事業	924	1,050	840	△ 84	△ 210
国内生保事業	204	150	200	△ 4	50
海外事業	382	260	250	△ 132	△ 10
金融サービス事業/リスク関連事業	46	50	10	△ 36	△ 40
その他の事業数値					
コンパインドレシオ(国内損保)	96.0%	93.6%	92.7%	△ 3.3pt	△ 0.9pt
MS A生命E V増加額	597	550	750	153	200
グループROE	5.9%	5.0%	4.5%	△ 1.4pt	△ 0.5pt

※「グループコア利益」、「グループROE」の定義は最終ページをご参照下さい。

資料24 今回業績予想の主な前提

2015年度業績予想  
(2015.11.18 発表)内容

	三井住友海上	あいおいニッセイ同和損保
市場環境の前提	原則、2015年9月末水準を想定	(参考) 2015年9月末 日経平均 17,388円 米ドル 120円 ユーロ 135円
当年度発生国内自然災害	430億円 (+180億円)	320億円 (+170億円)
異常危険準備金		
(火災保険)		
繰入	228億円 (+26億円)	136億円 (+12億円)
取崩	0億円 (0億円)	69億円 (+35億円)
積増	228億円 (+26億円)	67億円 (△23億円)
異常危険準備金		
(自動車保険)		
繰入	207億円 (0億円)	216億円 (△1億円)
取崩	71億円 (△75億円)	213億円 (0億円)
積増	136億円 (+75億円)	3億円 (0億円)
法人税率 (実効税率)	28.8%	

※ ()内は年初予想比

(Blank Page)

## 資料25 三井住友海上（単体）2015年度業績予想①

2015年度業績予想  
(2015.11.18 発表)内容

(億円)

	2014年度	2015年度 (年初予想)	2015年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	14,458	14,900	15,210	751	310
正味収入保険料 増収率	4.4%	3.1%	5.2%	0.8pt	2.1pt
正味損害率	62.2%	60.4%	59.0%	△ 3.2pt	△ 1.4pt
正味事業費率	31.8%	30.9%	31.0%	△ 0.8pt	0.1pt
コンパインド・レシオ	94.0%	91.3%	90.0%	△ 4.0pt	△ 1.3pt
インカードロス(含む損害調査費)	8,874	9,053	9,097	222	44
保険引受利益	140	380	130	△ 10	△ 250
ネット利息及び配当金収入	706	674	800	93	126
有価証券売却損益	900	435	792	△ 108	357
有価証券評価損	△ 33	△ 30	△ 35	△ 1	△ 5
資産運用損益	1,583	1,064	1,414	△ 169	350
経常利益	1,713	1,400	1,490	△ 223	90
特別損益	△ 337	△ 113	△ 134	203	△ 21
当期純利益	891	970	1,040	148	70
<b>&lt;除く家計地震・自賠責&gt;</b>					
正味収入保険料 増収率	4.5%	3.2%	5.4%	0.9pt	2.2pt
正味損害率	59.4%	57.5%	56.1%	△ 3.3pt	△ 1.4pt
正味事業費率	33.9%	32.9%	33.0%	△ 0.9pt	0.1pt
コンパインド・レシオ	93.3%	90.4%	89.1%	△ 4.2pt	△ 1.3pt

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

## 資料26 三井住友海上（単体）2015年度業績予想②

2015年度業績予想  
(2015.11.18 発表)内容

## 正味収入保険料 (億円)

	2014年度	2015年度(予想)	
			増収率
火災	2,226	2,505	12.5%
海上	652	680	4.2%
傷害	1,496	1,408	△5.9%
自動車	6,262	6,460	3.1%
自賠責	1,801	1,867	3.6%
その他	2,018	2,290	13.4%
合計	14,458	15,210	5.2%
除く家計地震・自賠責	12,649	13,335	5.4%

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

## 正味損害率

	2014年度	2015年度(予想)	
			前期比
火災	67.0%	52.8%	△ 14.2pt
海上	49.9%	53.1%	3.2pt
傷害	58.7%	58.2%	△ 0.5pt
自動車	60.9%	59.4%	△ 1.5pt
自賠責	81.8%	79.6%	△ 2.2pt
その他	49.7%	49.9%	0.2pt
合計	62.2%	59.0%	△ 3.2pt
除く家計地震・自賠責	59.4%	56.1%	△ 3.3pt

## インカードロス (億円)

	2014年度	2015年度(予想)	
			前期比
インカードロス(含む損害調査費) <sup>※1</sup>	8,874	9,097	222
自然災害 <sup>※2</sup>	151	435	283
自然災害以外	8,723	8,663	△ 60

※1 インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※2 「自然災害」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生)およびタイ洪水(2011年度発生)をいう。

ただし、2015年度は、タイ洪水の影響が軽微なため、これを含まない。(2014年度におけるタイ洪水のインカードロスは△49億円)

資料27 あいおいニッセイ同和損保（単体）2015年度業績予想①

2015年度業績予想  
(2015.11.18 発表)内容

(億円)

	2014年度	2015年度 (年初予想)	2015年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	11,608	11,820	11,910	301	90
正味収入保険料 増収率	1.4%	1.8%	2.6%	1.2pt	0.8pt
正味損害率	63.2%	61.8%	61.5%	△ 1.7pt	△ 0.3pt
正味事業費率	35.0%	34.5%	34.5%	△ 0.5pt	0.0pt
コンパインド・レシオ	98.2%	96.3%	96.0%	△ 2.2pt	△ 0.3pt
インカードロス(含む損害調査費)	7,346	7,320	7,350	3	30
保険引受利益	147	280	230	82	△50
ネット利息及び配当金収入	401	321	370	△ 31	49
有価証券売却損益	199	40	40	△ 159	-
有価証券評価損	△ 0	△ 30	△ 30	△ 29	-
資産運用損益	515	250	300	△ 215	50
経常利益	689	530	540	△ 149	10
特別損益	△ 32	△ 88	△ 150	△ 117	△ 62
当期純利益	394	320	310	△84	△10
＜除く家計地震・自賠責＞					
正味収入保険料 増収率	1.3%	1.7%	2.7%	1.4pt	1.0pt
正味損害率	60.4%	58.9%	58.7%	△ 1.7pt	△ 0.2pt
正味事業費率	37.2%	36.7%	36.6%	△ 0.6pt	△ 0.1pt
コンパインド・レシオ	97.6%	95.6%	95.3%	△ 2.3pt	△ 0.3pt

資料28 あいおいニッセイ同和損保（単体）2015年度業績予想②

2015年度業績予想  
(2015.11.18 発表)内容

正味収入保険料 (億円)			
	2014年度	2015年度(予想)	
		増収率	
火災	1,449	1,662	14.7%
海上	75	59	△22.1%
傷害	695	639	△8.1%
自動車	6,652	6,699	0.7%
自賠責	1,677	1,711	2.0%
その他	1,058	1,140	7.7%
合計	11,608	11,910	2.6%
除く家計地震・自賠責	9,926	10,193	2.7%

正味損害率			
	2014年度	2015年度(予想)	
		前期比	
火災	66.2%	56.9%	△ 9.3pt
海上	62.4%	55.9%	△ 6.5pt
傷害	49.5%	52.1%	2.6pt
自動車	61.0%	59.9%	△ 1.1pt
自賠責	80.2%	78.9%	△ 1.3pt
その他	55.1%	57.8%	2.7pt
合計	63.2%	61.5%	△ 1.7pt
除く家計地震・自賠責	60.4%	58.7%	△ 1.7pt

インカードロス

(億円)

	2014年度	2015年度(予想)	
		前期比	
インカードロス(含む損害調査費) <sup>※1</sup>	7,346	7,350	3
自然災害 <sup>※2</sup>	121	321	199
自然災害以外	7,225	7,029	△ 196

※1 インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※2 「自然災害」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生)およびタイ洪水(2011年度発生)をいう。

ただし、2015年度は、タイ洪水の影響が軽微なため、これを含まない。(2014年度におけるタイ洪水のインカードロスは△1億円)

資料29 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保 (単体単純合算)

2015年度業績予想  
(2015.11.18 発表)内容

(億円)

	2013年度	2014年度		2015年度(予想)	
			前期比		前期比
正味収入保険料	25,291	26,066	775	27,120	1,053
正味保険料 増収率	4.6%	3.1%	△1.5pt	4.0%	0.9pt
正味損害率	65.0%	62.6%	△2.4pt	60.1%	△2.5pt
正味事業費率	33.2%	33.2%	0.0pt	32.5%	△0.7pt
コンバインド・レシオ	98.2%	95.8%	△2.4pt	92.6%	△3.2pt
インカードロス(含む損害調査費)	16,905	16,221	△684	16,447	225
保険引受利益	△361	287	649	360	72
ネット利息及び配当金収入	1,168	1,108	△60	1,170	61
有価証券売却損益	743	1,100	356	832	△268
有価証券評価損	△70	△34	35	△65	△30
資産運用損益	1,781	2,098	317	1,714	△384
経常利益	1,298	2,403	1,104	2,030	△373
特別損益	△231	△369	△138	△284	85
当期純利益	711	1,285	574	1,350	64
<b>&lt; 除く家計地震・自賠責 &gt;</b>					
正味保険料 増収率	4.0%	3.1%	△0.9pt	4.2%	1.1pt
正味損害率	62.1%	59.8%	△2.3pt	57.2%	△2.6pt
正味事業費率	35.2%	35.3%	0.1pt	34.6%	△0.7pt
コンバインド・レシオ	97.3%	95.1%	△2.2pt	91.8%	△3.3pt

※「正味損害率」は「リターン・ペイド」ベース

資料30 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保 (単体単純合算)

2015年度業績予想  
(2015.11.18 発表)内容

正味収入保険料

(億円)

	2013年度	2014年度		2015年度(予想)	
		増収率	増収率	増収率	増収率
火災	3,480	3,675	5.6%	4,167	13.4%
海上	679	728	7.2%	739	1.4%
傷害	2,173	2,191	0.8%	2,047	△6.6%
自動車	12,672	12,914	1.9%	13,159	1.9%
自賠責	3,377	3,478	3.0%	3,578	2.9%
その他	2,907	3,077	5.8%	3,430	11.4%
合計	25,291	26,066	3.1%	27,120	4.0%
除く家計地震・自賠責	21,901	22,576	3.1%	23,528	4.2%

正味損害率

	2013年度	2014年度		2015年度(予想)	
		前期比	前期比	前期比	前期比
火災	68.5%	66.7%	△1.8pt	54.4%	△12.3pt
海上	58.4%	51.2%	△7.2pt	53.4%	2.2pt
傷害	57.0%	55.8%	△1.2pt	56.3%	0.5pt
自動車	63.4%	61.0%	△2.4pt	59.6%	△1.4pt
自賠責	84.2%	81.0%	△3.2pt	79.3%	△1.7pt
その他	53.4%	51.6%	△1.8pt	52.5%	0.9pt
合計	65.0%	62.6%	△2.4pt	60.1%	△2.5pt
除く家計地震・自賠責	62.1%	59.8%	△2.3pt	57.2%	△2.6pt

インカードロス

(億円)

	2013年度	2014年度		2015年度(予想)	
			前期比		前期比
インカードロス(含む損害調査費) <sup>※1</sup>	16,905	16,221	△684	16,447	225
自然災害 <sup>※2</sup>	963	272	△690	756	483
自然災害以外	15,942	15,948	6	15,692	△257

※1 インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※2 「自然災害」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生)およびタイ洪水(2011年度発生)をいう。

ただし、2015年度は、タイ洪水の影響が軽微なため、これを含まない。(2014年度におけるタイ洪水のインカードロスは△51億円)

## 「グループコア利益」の定義

グループコア利益 = 連結当期利益 - 株式キャピタル損益（売却損益等） - クレジットデリバティブ評価損益 - その他特殊要因  
+ 非連結グループ会社持分利益

グループROE = グループコア利益 ÷ 連結純資産（期初・期末平均、除く非支配株主持分）

## 予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS & ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社  
広報・IR部

TEL: 03-5117-0311

e-mail: [ms\\_ad\\_ir@ms-ad-hd.com](mailto:ms_ad_ir@ms-ad-hd.com)

URL: <http://www.ms-ad-hd.com>